

鴨志田第一小学校 学校だより

キャッチボール

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamoshida1/> 令和3年6月30日発行 7月号



夏休みを前に

校長 喜々津 好宏

学校のプールに3羽の鴨が涼しげに泳いでいる姿を見かけるようになりました。本年も水泳の授業を実施しないため、プールは鳥たちに開放することとしましょう。気温が上がりはじめ、熱中症の心配も出てきました。学校では、横浜市教育委員会の指示により、呼吸が激しくなるような運動を行う際には、強制はできませんが、マスクを外すように声掛けをしています。

さて、「鴨志田夏祭り」に続き「たちばなどんたく」も感染症対策から本年度の開催を見送るとの連絡が届きました。地域の夏の風物詩であるお祭りの中止を、子どもたちはとても残念に思っていることでしょう。「たちばなどんたく」と言えば、2年前にとってもおいしい焼きそばをいただいた思い出があります。遠方からわざわざ買いに来る方もいるという「ご自慢のやきそば」を期待していたのですが、楽しみは来年まで待つこととします。

8月28日と31日に学校独自の給食を実施することとしました。長期の休み明けは何となく学校に来ることが辛くなりがちですが、本校の栄養職員や給食調理員が思わず学校に来たいと思うような献立を考えています。今回、「あげぱん」、「カレー」、「ソフト麺」なども献立候補に挙がったのですが、夏場の衛生対策や9月の献立との兼ね合い等で提供できないとのことでした。そこで、地域の夏祭りが中止になったので、せめて、お祭りの雰囲気味わってもらおうと28日は「やきそば」を提供しようと考えています。独自献立は学校だけの判断では決められず、教育委員会の承認が必要ですが、承認が下りれば、おいしい焼きそばを子どもたちに食べてもらいたいと思っています。

今年は例年のとおり37日間の長い夏休みとなりますが、すべての児童が健やかに過ごし、そして、元気に学校に戻ってくることを切に願っています。交通事故や水の事故には十分注意するように、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

文部科学大臣から自殺予防のメッセージが届きましたので周知いたします

保護者や学校関係者等のみなさまへ

コロナ禍において児童生徒等の自殺者数が大きく増加していること、また、長期休業明けに児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子どもたちが増えることも考えられます。保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、子どもたちと向き合い、話しを聞く・話し合いをする時間を積極的に取っていただくようお願いいたします。

「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を実現するためには、国民一人ひとりが身近な人の様子を気遣い、支えていくことが不可欠です。文部科学省としても、児童生徒等の命を守り通せるよう、引き続き、自殺予防の取組に全力を尽くします。

令和三年五月
文部科学大臣 萩生田 光一



あいさつ運動

今年度の児童会スローガンは、『みんなでつなごう!! 明るい笑顔と一人一人の思いやり』です。昨年度できなかった「あいさつ運動」も6月から再開しました。あいさつは相手を大切に思う第一歩でもあります。あいさつから明るい笑顔をつないでいけるように意識しながら、登校時にたてわり班ごとに交代で行っています。

重点授業研究会

今年度は「進んで考えを伝え合う子の育成」をテーマに、算数の授業を通して、自ら学習課題を見つけ問題を解決する力を伸ばすための校内研究をしています。授業では、一人で考える自力解決の時間と、子ども同士で話し合って問題解決していく共同思考の時間を充実できるようにしています。共同思考の場面では、自分の考えを説明しやすいように、小型のホワイトボードやノートをテレビに映すための実物投影機などを活用することもあります。また今年度からは、各自のタブレットを使ってみんなの書いたものを手元で見られるようになりました。子どもたちが主体的に学べるような授業づくりに、今後も取り組んでいきたいと思えます。



1年生

各学年の様子

2年生

くちばしクイズ

国語の学習で、初めての説明文「くちばし」の学習を行いました。教科書で習った「問い」や「答え」などの文を使って、くちばしクイズを作りました。タブレットで自分が選んだ鳥の写真を撮り、隣のクラスの友達にくちばしクイズを出しました。

一生懸命クイズを出したり、興味をもって友達のクイズを聞いたりしていました。



ぐんぐんそだて おおきなやさい

2年生では、生活科の学習で野菜を育てています。4月に、枝豆、なす、ミニトマト、おくら、ピーマンの中から1つ選びました。様子を見ながら水やりをしたり、どうやって育てたらいいか友達と相談したりしながら大切に育てています。「もう収穫できるかな。」「あと1日様子を見て収穫しようかな。」と毎日楽しみに見えています。最近少しずつ収穫できるものが増えてきました。持ち帰った野菜をおいしく食べた話も聞いています。

これからもしばらくの間、子どもたちの楽しみは続きます。



3年生

カイコを育てて

カイコ博士になろう

3年生は総合的な学習の時間でカイコを育てる活動に取り組んでいます。学校司書の先生にサポートしてもらって図書館の本でカイコの育て方を調べたり、技術員さんに教えてもらって桑の葉を一生懸命集めたりして、大事に育ててきました。

自分が育ててきたカイコが繭を作り始めると、喜ぶ姿やお別れを寂しがる姿が見られました。



4年生

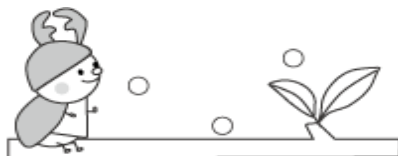
開港記念朝会

6月1日に開港記念朝会をしました。今年度の開港記念朝会は、感染症拡大予防のため、TVでの朝会となりました。

開港記念朝会に向けて、実行委員を中心に発表の練習に励みました。どうして横浜が開港されたのか、開港によってどう変わっていったのかを映像も使いながら発表できるように準備しました。

今回は録画放送での発表となった為、何度も取り直し、声の大きさを調整しながら準備しました。各自、自分が話すところを一生懸命に練習しました。

本番では、4年生が堂々と立派に発表する姿が放送されました。それを見た全校の子どもたちも、自分たちの住んでいる横浜への愛着が深まったようでした。



5年生

ワクワクドキドキ

6月は家庭科で初めての裁縫を行いました。「うまくできるかな。」「針で指をささないだろうか・・・。」とドキドキが止まらないようでした。

6月24日には運動会に向けて100m走のタイム計測を行いました。リレー選手の選考もかかっており、みんなの顔は気合十分。ワクワク感いっぱいの表情でした。



6年生

SDGs 17の目標

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」に向けて、「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマにスピーチを行いました。SDGsに基づく17の目標から自分の関心のある視点について調べ、経験を交えながら自分の考えを伝えました。6月24日には、鴨志田緑小学校で青葉区の審査会が行われ、6年生の代表児童が参加しました。

